

令和元年 8 月 1 日

東かがわ市議会  
議長 橋本 守 様

東かがわ市議会

行政視察等報告書

研 修 日	令和元年 7 月 2 4 日 (水)・2 5 日 (木)
研 修 地	神奈川県川崎市・神奈川県藤沢市
参 加 者	議員 1 7 名、随行者 議会事務局 3 名
研修テーマと内容	<p>【24日】</p> <p>◆公共交通対策について 川崎市における 「コミュニティ交通の取り組みについて」</p> <p>川崎市は、東京 2 3 区と横浜市に挟まれた良好な位置に立地し、鉄道や道路など公共交通網に恵まれた環境の大都市である。また、地形は細長く一部の丘陵地を除いて起伏が少なく、神奈川県下でも比較的平坦な地域で東京のベッドタウンとして人口も若年層を中心に増加傾向にあり、本市とかけ離れた生活環境の都市である。このような大都市においても、交通網が無い空白地の公共交通対策に取り組んでいる状況を研修することができた。</p> <p>川崎市は、地域交通（路線バス・コミュニティ交通等）の機能を強化するための支援と併せて、地元自治会を中心に各地区に協議会を設立し、地域のニーズなどに応じたコミュニティ交通に取り組んでいる。地域交通を検討する段階から本格的運行まで「地域協議会」が主体となって運営することに対し支援を行なっている。</p> <p>各協議会の運営については、その地域に沿った方法で実証を続けており、運行事業者が運行を請け負っている協議会や自治会が中心となりボランティアで運行を行ない 1 0 周年を迎えている協議会もあった。</p> <p>市の支援としてソフト面では、協議会設立に至るまでの調整と運輸支局に提出する申請書類等の作成、運行実施に係る経費を負担し、ハード面は運行開始時の車両購入等と車両更新費（上限 600 万円・5 年以上経過のもの）であり、運営に係る赤字補てんは無しで独立採算制で運営してた。</p> <p>何件か紹介された事例のうち、本市においても導入することが可能と思われたのは、野川南台コミュニティバス協議会が運営しているコミュニティバスの取り組みである。運行エリアは小規模の公共交通網の空白地に所定のバス乗降所を 2 0 程度設置し巡回するシステムであり、野川南台団地の住民であれば無料、予約なしでバス停で乗降りでき、ワゴン車の運行は無償ボランティアで 1 0 周年を迎えているところは、地域住民が必要とする交通手段をみんなで支えている事ではないかと感じた。</p> <p>今後、この研修で得た事項をヒントに、本市がこれから検討していく公共交通対策に執行部と共に議論を重ね、方向性を見出していかなければならない。</p>

行政視察等報告書

研修テーマと内容	<p>【25日】 ◆カフェトークふじさわ 藤沢市議会 「議会報告会の取り組み」</p>
	<p>藤沢市議会は、議会改革の一環で平成25年4月1日に議会基本条例を制定し、開かれた議会、市民に親しまれる身近な議会を目指して広報広聴委員会を設置して議会報告会等を開催している。</p> <p>報告会は、議会審議等の結果の報告と意見交換会であり、何回か行なって見えてきた課題は、参加者の年齢層の偏りや若者の参加が少なく固定化し減少傾向となっていること、市政全般に対する苦情が多く建設的な議論にならないことやテーマ設定や進行に等で本市も同様な状況であると実感した。</p> <p>そこで、広報広聴委員会で検討するなかで、専門家のアドバイスを受けて、ワールドカフェ形式を採用して雰囲気を一層することとした。</p> <p>名称やチラシ等を工夫して親しみやすいものにしたこととやテーマも誰もが話しやすものを選択し実施するなど、これまでの報告会と意見交換会を発展させた新たな取り組みを平成27年度から実施している。現在も、参加した方からアンケートを採り、内容を検証しうえで次に繋げていけるよう取り組んでいる。</p> <p>また、実施後の取り組みとしては、テーマごとに集約結果を提言書にして執行部に提出を行なっている。</p> <p>本市も議会報告会の実施後に反省会を持って次に繋げられるよう協議をしているが、藤沢市議会の取り組みをヒントに今後、議会広報広聴特別委員会で幅広い年齢層からの意見等を聴取出来るような新たな取り組みのう協議を進め、議会としても早期に実践できるよう検討をしていく必要がある。</p>